

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

発行日：毎月 10 日・20 日・月末
創刊日：1999 年 12 月 8 日
編集 / 発行：橋本 啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 8. No.20 2006 年 7 月 20 日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2006 CNA Report Japan. All rights reserved.

ニュース項目

マイクロソフト、Microsoft Office Communicator 2007 などユニファイドコミュニケーションの新製品を発表



サンフランシスコでの戦略会議で発表する米マイクロソフト社ビジネス部門担当プレジデント ジェフ レイクス氏

米マイクロソフト社は、6月25日に米国カリフォルニア州サンフランシスコで開催された戦略会議において、ユニファイドコミュニケーションのビジョン、テクノロジーロードマップ、パートナーフレームワークを発表。

マイクロソフト社としては、ユニファイドコミュニケーションによって、Eメール、インスタントメッセージング、モバイル、VoIP電話、音声会議、ビデオ会議、Web会議といった単独に存在し、それぞれ個別のIDや番号をもつコミュニケーションツールに、統一した単一のIDを割り当てることによって統合し、Microsoft Office system やサードパーティー製ソフトウェアなど業務用アプリケーションなども連携させ、TPO 毎によって人がツールを選択する煩雑さを解消することによる生産性の向上と、とそれに伴うシステム管理やコストを低減することを目的とする。

今回の戦略会議では、同社ビジネス部門担当プレジデントジェフレイクス氏が、ユニファイドコミュニケーションは、企業のビジネスコミュニケーションに変革をもたらし、コストや複雑さを大幅に削減できるものと考え、企業におけるユニファイドコミュニケーションの重要性を訴える。

また、同社ユニファイドコミュニケーショングループ担当コーポレートバイスプレジデント アヌーブグプタ氏は、ユニファイドコミュニケーションが企業の生産性革命を実現。ユニファイドコミュニケーションの実現にはソフトウェアが大きな役割を果たすと述べる。

ユニファイドコミュニケーションを実現するためには、関連の通信機器メーカーなどとのパートナーシップを強化することが必要と考える。3月にアルカテル社、アバシア社、シスコシステムズ社、ミテル社、NEC社、ノーテル社、シーメンス社との協業を発表していたが、今回ヒューレットパッカード社とモトローラ社との業務提携も発表した。

今回発表された主な製品は以下のとおり。(1)「Microsoft Office Communications Server 2007(マイクロソフト・オフィス・コミュニケーションズ・サーバー 2007)」。プレゼンス情報をベースにした VoIP 通話管理、音声、ビデオ会議、ウェブ会議、インスタントメッセージングなどを SIP プロトコルベースで実現するコミュニケーションプラットフォーム。Microsoft Live Communications Server から名称を、「Live」から「Office」に変更している。

(2)「Microsoft Exchange Server 2007(マイクロソフト・エクスチェンジ・サーバー2007)」。電子メール、ボイスメール、ファックスなどを扱える統合受信ボックス、自動音声案内などの新しい機能をもつユニファイドメッセージングを実現する。

(3)「Microsoft Office Communicator 2007(マイクロソフト・オフィス・コミュニケーター 2007)」。Office

Communications Server 2007 と連携稼働するユニファイドコミュニケーションのクライアント。VoIP 電話、インスタントメッセージング、音声会議、ビデオ会議、ウェブ会議機能を提供。

(4)「Microsoft Office Live Meeting(マイクロソフト・オフィス・ライブ・ミーティング)」。マイクロソフトが提供している。ウェブ会議サービス。Microsoft Office System との統合。

(5)「Microsoft Office Roundtable(マイクロソフト・オフィス・ラウンドテーブル)」。全員の様子をパノラマ画像で見たり、話し手をクローズアップしたり、360 度のカメラを備えた音声映像コラボレーション用のデバイス。Office Communications Server 2007 などと組み合わせて使用。



Microsoft Roundtable
(写真左)



Microsoft Roundtable を使ったパノラマ表示

(6)「Microsoft Office Communicator のテレフォニーエクスペリエンス」。ポリコム社、LG-Nortel 社、Thomson Telecom 社などから提供されるビジネス用の IP 電話などを Microsoft Office Communicator 環境で稼働させるためのソフトウェア。

(7)PC の周辺機器群。GN Netcom 社、Logitech 社、モト

ローラ社、Plantronics 社、Samsung and Tatung 社などから供給される USB 対応のハンドセット、ヘッドセット、ウェブカメラ、PC モニターなどの Office Communications Server 2007 対応。

提供時期は、製品によって 2006 年末ないしは、2007 年の始め、あるいは 2007 年第二四半期以降に提供を開始する予定。

(CNAレポート・ジャパン Vol.7 No.19 2005 年 10 月 31 日号、Vol.8 No.5 2006 年 2 月 20 日号、Vol.8 No.7 2006 年 3 月 31 日号)

ユニアデックスと NTT コミュニケーションズ、中国進出企業向けにテレビ会議システムと IP-VPN 回線をパッケージで販売

ユニアデックス株式会社(東京都江東区)と NTT コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)は、協同で中国に進出する企業向けにユニアデックスの PC ベースのウェブ会議システム「AVCON ビジュアルコミュニケーション・システム」と、NTT コミュニケーションズの IP-VPN 回線「Arcstar グローバル IP-VPN」をパッケージサービスとして販売する。

日中間のインターネット回線の混雑による帯域不安定の問題を解消するため今回両者が協同でパッケージを開発した。

サービス構成は、AVCON サーバー、日本と中国間の回線、そして日本側のコールサポートサービスから構成される。

特徴としては、(1)テレビ会議システムと回線を低価格かつワンストップで提供。(2)日本語、英語、中国語対応で、中国現地社員でも容易に操作可能。(3)故障対応と製品サポートサービス、システムと回線の故障切り分け作業をユニアデックスのコールセンターが一元的に受け付け。(4)128kbps からの狭帯域で高品質・高音質のテレビ会議を実現。また 64kbps で 320x240 ピクセルの高画質通信が可能。(5)既存のパソコンを端末として、データを画

面上で共有しながら相互での編集・加工が可能。

パッケージ価格は、東京～上海間を 128kbps、同時接続端末が4台の場合 182 万円からとなっている。

AVCON ビジュアルコミュニケーション・システムは、昨年 10 月よりユニアデックスより発売されたウェブ会議システム。(CAN レポート・ジャパン Vol.7 No.17 2005 年 9 月 30 日号)

仏ジェネシス カンファレンシング社、日本での事業を加速化。今年は設立 20 周年。新サービスなど積極的に展開。

ジェネシス カンファレンシング株式会社(東京都港区)は、フランスの多地点事業者の日本法人(設立が 2004 年 3 月)。本社ジェネシスカンファレンシング社の創立は、1986 年で今年 20 周年を迎える。

電話会議、ウェブ会議、テレビ会議サービスを「Multimedia Conferencing Service(マルチメディア・カンファレンシング・サービス)」として統合的に提供している独立系の多地点接続事業者。20 カ国以上の国々に営業とローカルサポートの拠点をもちグローバルに事業展開を行う。

独立系多地点接続事業者とは、欧米では一般的だが、一般通信サービスを全般的にインフラとして提供している通信事業者という意味ではなく、会議サービスに特化したサービスを提供している事業者を指している。

「欧米での会議サービス事業者としての評判は高くプレゼンスは既に確立している。日本ではようやく体制を整え、これから事業を加速化していく状況だ。また、今年は創立 20 周年。VoIP など新たなサービスを積極的に展開し、お客様の多様なご要望に応じていきたい。」(ジェネシス カンファレンシング株式会社 営業部長 岩波朱美氏)

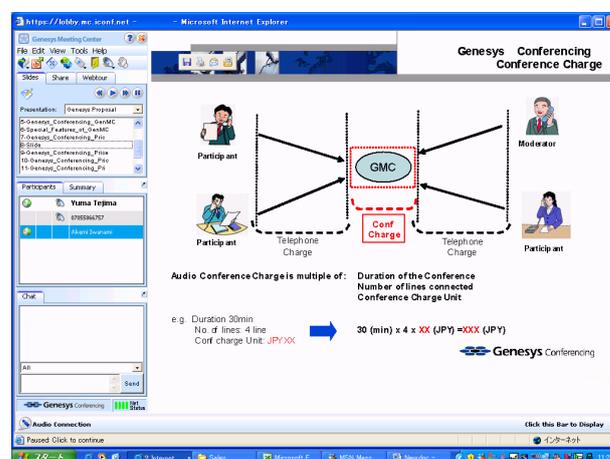
同社は、今年3月米調査会社豪州支社フロスト&サリバンオーストラリアから、「革新的なビジネスモデルと価格設定戦略」を遂行したとして、ベストプラクティスアワード(Best Practice Award for Conferencing & Collaboration Service Provider of the Year)を授与された。

同社の強みの一つは、グローバルに会議サービスを展開

しながらも、地域ごとの言語やローカルな事情に対応したテクニカルサポートの充実があげられる。また、電話と Web を使用した場合、従来は両方の料金がかかっていたが、ジェネシスは片方の料金しか課金しない、一元課金方式「Multimedia Pricing(マルチメディアプライシング)」を採用している。

「従来の考え方であると、音声とウェブの課金を別々に行う料金体系が一般的であったが、当社はそれら2つの課金方式を一元化することによって、わかりやすいサービスとしている。これによって、お客様の導入の敷居を下げ、他社に比べ割安な料金でサービスを提供することが可能になっている。」(同アカウントマネージャー 谷内健治氏)

今回、同社で力を入れている「Genesys Meeting Center」についてご紹介いただいた。Genesys Meeting Center は、ウェブ会議サービスで、同社にて独自に開発した。ウェブ会議セッション時の音声の部分は、電話会議サービスを使うが、ウェブと音声をシンクロナイズさせて提供している。

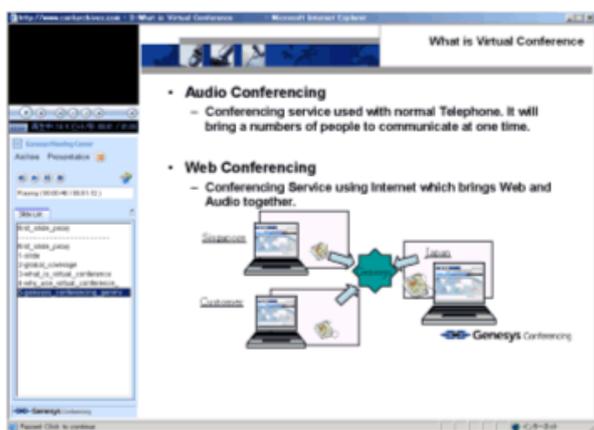


Genesys Meeting Center(ジェネシス・ミーティング・センター)ウェブ会議セッション画面

「Genesys Meeting Center(ジェネシス・ミーティング・センター)は、ウェブ会議のサービス機能部分と音声の部分(一般公衆回線使用)をシンクロナイズさせて、両者が同期してサービス提供できるような仕組みになっている。このシンクロナイズの技術は、他社にはあまりない当社の大きな強みの一つ。スムーズでストレスのないウェブ会議の

操作環境を提供する。」(同テクニカルマネジャー 手嶋翼真氏)

Genesys Meeting Center のユーザーインターフェイスは、見た目にすっきりとしたブルー色を基調としており、操作ボタン、参加者一覧表示、参加者の状態などがわかりやすく表示され、ウェブ会議セッションの主催者と参加者間の操作権限のやりとりなどの操作も簡単に行える。



セッション再生画面

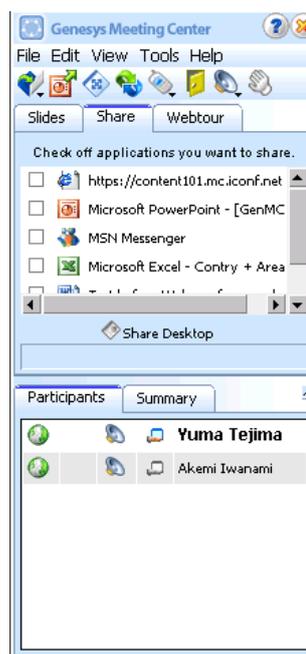
Genesys Meeting Center の機能としては、パワーポイントプレゼンテーション、アプリケーションシェアリング機能、ウェブツアー機能、投票・アンケート・クイズ機能などとともに、参加者呼出のダイアルアウト、会議室のドアをロックするセキュリティ機能、ミュート、会議終了操作、参加者の状況確認、そして、運用管理の利便性をあげるレポート機能、マイクロソフト Outlook や Lotus Notes との連携、会議セッションの録画、会議セッション中のストリーミング配信などが提供されている。会議セッションは、SSL の暗号化でセキュリティを提供している。

レポート機能は、会議の名前、開催時刻、会議時間、参加人数、アンケート結果などの履歴を保存。CSV ファイルでエクスポートも可能。

会議セッションの録画は、ウェブ画面と音声の両方あるいは、ウェブ画面か音声のどちらかの録音オプションを選べる。録音されたものはネットワーク経由で主催者がダウンロードするか、あるいは CD などに保存してお客様に郵送すること

も可能だ。

また、ウェブ会議セッションは、予約で行う方法とアドホック(その場で即座に開始)で行う方法があり、予約の場合は、主催者が予約して参加者へメールにて通知、参加者は指定の URL からミーティング ID と PIN で会議セッションへログインする。また、プラグインを追加することにより、Outlook 予定表から直接ジェネシスの会議予約もできるといった便利な機能も持ち合せている。



共有するアプリケーションを選択

アドホックミーティングを開始する場合は、同社指定のウェブページにアクセスをして、ミーティング ID 番号を入力しスタートボタンを押す3ステップで簡単に開始することができる。ウェブ会議の音声部分は、電話会議で行うが、電話会議を開始

するのも、アクセス番号、*で挟んだ6桁の数字、PIN 番号入力の3ステップで簡単に開始できる。「いずれも簡単に会議が開始できるのが当社の利点のひとつ。」(同手嶋氏)

今後の新サービスとしては、日本語などの2バイト文字に今夏に対応、VoIP については今年末までに対応する予定だ。また、同社のウェブ会議ユーザーの4割は金融系のユーザーではあるが、金融系ユーザー向け(SEC 17a-4 規則対応)などのアーカイブ機能の充実化も行っていく。

また、今年設立20周年記念として、秋口にお客様感謝のための同社本社役員や新サービスの紹介セミナー、レセプションなどを行うイベントを予定している。「設立20周

年記念イベントを開催することで、お客様に感謝を示すとともに、ジェネシスカンファレンシングをより深くご理解いただける機会になればと考えている。」(同 岩波氏)

【海外 news】イスラエルの Emblaze-VCON 社、 テレビ会議システム新製品発表

イスラエルのテレビ会議メーカー Emblaze-VCON 社から各種テレビ会議システム製品が発表になった。

(1)「HD600」。コーデックタイプのテレビ会議システム。H.264 には対応していないが 2Mbps までサポート。データ会議用のデュアルビデオ H.239、ストリーミング機能を搭載。AES 暗号化対応。

(2)「VCB V.5」。16-48 ポートに対応(それ以上はカスケードユニット追加)した多地点接続装置。ストリーミング機能と会議スケジュール予約機能を搭載。SIP/H.323 に準拠。1 ポートあたり 4Mbps までサポート(H.263,H.264)。AES 暗号化対応。

(3)「MXM V4.5」。テレビ会議端末(他社の H.323/SIP も含む)などの管理とリソースのマネージメントを行うテレビ会議ネットワーク用マネージメントシステム。また、会議セッションの予約と管理、議長コントロール機能、コール転送、ピックアップ、転送、アドホック会議などの機能を提供する。LDAP などのオンラインディレクトリーサービスや IP アドレス、H.323 エイリアス、E.164 ナンバー、メールアドレス、URL などのトランスレーション機能に対応。オプションで、VCB 多地点接続装置、ファイアーウォール/NAT トラバース(越え)、暗号化機能などをサポート。また、会議システム運営管理ツールの一つである「MXM Administrator program」は、会議セッションや会議システムの運営に関する記録やポリシー設定、監視機能などが提供されている。150 のネットワークゾーンに区切られた 75 万ユーザーまでの登録管理が行える。

上記各製品は、2006 年第三四半期出荷予定。日本では、日本システムウェア株式会社(東京都渋谷区)で VCON 製品を販売している。

【Electronic TeleSpan 海外 news】ビデオ映像と医療データを機内から衛星経由で送信できる遠隔医療システム



執筆：エリオットゴールド、
TeleSpan Publishing
Corporation

<http://www.telespan.com>

(If you're one in a million who has a health problem on an aircraft, there's a growing chance that your flight will have onboard telemedicine June 12th, 2006 Volume 26 Number 22, 翻訳)

旅行はビジネスであれ個人的なものであれ、楽しいものである。旅行の間に病気にならなければ。

旅行中の旅客機内で病気になる確率は、ある統計によると、100 万分の 1、他の統計では 100 万分の 8 とも言われる。いずれにしても、大差はないが確率的には非常に少ないと言えると思う。

しかし、国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization, ICAO、イカオ)の統計によると、2004 年には、航空会社の 3 兆 4000 有償旅客キロ数に対して 19 億人の旅客を運んでいる。それに対して 2005 年には、3 兆 5000 有償旅客キロ数に対して 20 億人の旅客を運んでおり、年々有償旅客キロ数及び旅客数ともに増加している。

問題は、これだけの旅行者が旅客機を使用していること、そして、当たりまえのことだが、旅客機での旅行を頻繁に行っている人であれば、そうでない人よりはなんらかの病気にかかる可能性は高まるわけだ。それも今年あるいは今月どこかで自分が搭乗するフライトで急病人が発生しないという可能性は否定できない。

私と私の息子は、よく旅客機に乗る方で、10 年前だが 2 人である旅客機に乗ったときに私たちの後ろに座っていた女性が急に心臓発作を起こすというインシデントが起こった。私たち 2 人は、ファーストエイドの資格を持っているので、即座に何か手伝うことがないかと思ったが、運良くそのフライトには、ちょうど医師が乗り合わせておりその女性に対して応急処置を施すことが出来た。

今回は良かったが実際のところ、医師が乗り合わせる可能性はどのくらいあるのだろうか。あまりないかもしれない。そういった場合どうなるのだろうか。

機内の急病人が発生した場合に対応するための遠隔医療システムを、イギリスの Remote Diagnostic Technologies 社 (RDT 社) が、3 年前に基本コンセプトを考案し、まず”MediLink“システムを開発。その後現在の”Tempus 2000”を開発。Tempus 2000 は、バッテリー駆動だが遠隔医療システムとしては必要な機能を搭載しているフルモデルとなっている。映像送信の機能も含まれている。



Tempus(写真左)

Tempus 2000 は、心電図検査などの検査の他、脈数、血圧、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO2、どの程度血流に酸素が含まれているか)などの情報の地上への衛星経由による

送信が行える。機内で取得した各医療データを、地上の医師へ送信し、機内に装備されている電話機を通して音声でその医師が対応する。

Tempus 2000 は、2回線の電話回線を利用する(シートの後ろなどについている電話機)が、1回線はそのデータ送信用に、もう一方の回線は音声通話用として使う。Tempus 2000 の大きさは、256mm x 294mm x 274mm で、重さは、8kg(バッテリー含む)。旅客乗務員が機内で持ち運べるくらいの重さ。

回線がつながると、Tempus 2000 は、衛星経由で医師につながり、各医療データと客室乗務員の説明からその急病人への対応を指示する。緊急の対応が必要な場合は、近隣の空港へ緊急着陸、あるいは目的地まで問題がないようであれば、そのような指示を行う。また、除細動器を常備している航空会社もあり、地上の医師からの指示により客室乗務員が

急病人に対して除細動器を使用する場合がある。

RDT 社のマネージング・ディレクターGraham Murphy氏は、「Tempus は、軽量小型で機内の電話機のデータチャンネルを使い、医療用データやビデオ映像を 2kbps で送信する。もう一方のチャンネルは音声通話に使う。」とデータ送信について説明する。

2Kbps とは一昔以前のインターネットの前に流行ったパソコン通信に使われていた回線帯域だ。「たしかに、2Kbps は細い帯域だ。そのため、細い帯域でも独自のデータの高圧縮技術を応用して、1 分半程度で高品質の映像やデータを送ることができる。また、Tempusは無線 LAN 機能を搭載しているため、今後旅客機が無線 LAN に順次対応してくれば、ブロードバンドを使った医療データや映像の送信が行えるようになる。」

現在、英 British Midland 社やドバイの Emirates Airlines 社など航空あるいは海運 6 社にて約 200 台の Tempus が活用されている。先週 Virgin Atlantic 社が新たに RDT 社と提携し、今後さらに利用会社を増やしていきたいと考える。

「Tempus の操作は非常に簡単ではあるが、RDT 社によると、Tempus の使用頻度は、せいぜい 2 ヶ月半に1回程度あるいはそれ以下ではないかと思う。」と、同社の Graham Murphy 氏は言う。しかし、そういったことは頻繁に起こってもらってはということもあるが、使用頻度が少ないということも想定して、簡単な操作性を提供している。Tempus は、操作に慣れていない場合でもわかりやすいように、メニューに答えていくようにしていけば、システムを操作できる工夫がされている。そのため、導入時に操作のトレーニングを行うが、その内容をすっかりと忘れてしまっても簡単に使用できる。

【エリ奥特ゴールドのコメント】

やはり、会議システムの新たなアプリケーションを考えた時、会議システム業界以外の人たちから教わるが多い。それは、“会議システム”ツールのひとつとは言え、そういった人たちは、出張費削減のものとしてというよりは、

人の命を救うためのものと捉えているからだ。

ショートニュース項目



日本電気株式会社(東京都港区)は、Web会議システム「コミュニケーションドアエクスプレス」と、短焦点背面プロジェクター「BR50WT」を東京ビックサイトで開催された第四回国際オフィス機器展(2006年7月6

日～8日)展示。上写真:来場者に「コミュニケーションドアエクスプレス」を説明する説明員。オフィス機器と同様簡単な導入と操作可能なウェブ会議と説明。(CNAレポート・ジャパン Vol.8 No.16 2006年6月10日号)

【海外 News】 音声会議用多地点接続装置(MCU)を開発する米 Compunetix 社は、米調査会社フロスト&サリバンから「事業開発戦略リーダーシップ賞」を受賞した。今回の選定にあたっては、マーケットプレーヤー、ユーザー、販売会社へのヒアリング、技術状況調査、新規顧客、新規セグメント開拓、事業拡大へのコミットメント度などを総合的に判断した上で Compunetix 社が選ばれた。同社は日本を含め世界25カ国30万ポートのMCUの販売実績を持つ。日本事務所窓口は、株式会社ジェイ・ティ・エス(神奈川県横浜市)。

イベント情報

～中国(杭州)とのWeb会議を快適にするコツ～
Web会議ツール活用による遠隔コミュニケーションセミナー 広島、大阪、東京

広島:2006年7月25日(火) 13:30-15:30(受付:13:00)
<http://www.sw.nec.co.jp/semi/cmdr060725/>
大阪:2006年7月26日(木) 13:30-15:30(受付:13:00)
<http://www.sw.nec.co.jp/semi/cmdr060726/>
東京:2006年7月27日(木) 13:30-15:30(受付:13:00)
<http://www.sw.nec.co.jp/semi/cmdr060727/>
主催:NECシステムテクノロジー
共催:NEC

ビジュアル・テレフォニー・ソリューションセミナー

日時:2006年7月27日(木)13:30～15:00
(受付 13:00～)
会場:沖電気工業株式会社虎ノ門ショールーム
主催:沖電気ネットワークインテグレーション株式会社
共催:沖電気工業株式会社
トーマンサイバービジネス株式会社
詳細:<http://www.okinw.co.jp/event/index.htm>

「IP-TV 会議システム トップ3メーカー 集結」セミナー

日時:2006年8月3日(木) 13:30～17:15 (受付 13:00)
会場:株式会社大塚商会 ITソリューションセンター大阪
主催:株式会社大塚商会
協力:ポリコムジャパン株式会社/タンバーク日本支社
ソニーマーケティング株式会社/
株式会社アッカ・ソリューションズ
詳細:<http://it.otsuka-bs.co.jp/otsuka/event/bb0803/>

第1回 Codian 技術セミナー

日時:2006年8月4日(金) 13:00
会場:TKP 飯田橋会議室
(東京都千代田区飯田橋3-4-3 エレガンス飯田橋2階)
主催:株式会社メディアプラス
講師:Codian ASIA Pacific テクニカルマネジャー
Aaron Chin 氏
詳細:<http://www.mediaplus.co.jp/news/060712.html>

編集後記

日々CNAレポート・ジャパンへのご協力、ご支援ありがとうございます。また、今号もお読みいただきましてありがとうございました。

8月10日号、20日号はお休みいたしますが、お盆以外は通常通り営業いたします。今後ともよろしく願い致します。

編集長 橋本啓介